



浜小だより

6月号

No. 3

茅ヶ崎市立浜須賀小学校 TEL 85-1184

平成29年5月31日 校長 柴山 比都美



いよいよ今週土曜日は運動会。応援よろしくお祈いします。



昨日は、大変暑い日となりました。今週土曜日の運動会が昨日のような天気ですと、子どもたちの健康面が心配されますが、防災茅ヶ崎のお天気情報では、3日(土)は、曇りのち晴れ。降水確率30%となっています。市内では先週土曜日に3校が、今週土曜日に11校の運動会が予定されています。子どもたちの練習にも力が入っています。気持ちが最高に盛り上がる3日にできることを祈るばかりです。一昨年、昨年、今年と各学年4クラスで、縦割りの4色対抗の運動会です。クラスが全員同じ色で一丸となり臨める運動会は、クラスづくりには絶好の機会となり、必然的に力が入ります。子どもたちの頑張りをぜひ見ていただきご声援をよろしくお祈いいたします。多数ご来校いただけることを願っています。



今年の運動会は、浜須賀小学校創立50周年記念運動会です。PTAのご協力により「50周年記念ロゴ」も作っていただきました。教職員がTシャツ・キャップ等身に付けていますので、どうぞご覧ください。また、保護者、地域種目として綱引きを行います。ご参加ください。

先週土曜日の浜須賀中学校の体育祭を見させていただきました。大変落ち着いて、全校が一生懸命取り組んでいる姿は、本当に立派でした。中学生のきびきびした動き、迫力、みんなが楽しんで体育祭を盛り上げていて、見ていてとても清々しい気持ちになり、小学生の良い見本となりました。ありがとうございました。

被爆体験語り継ぎ

かしむらよりこ

22歳で被爆。榎村 従子 さんのお話を聞きました

広島市牛田町の実家(爆心地から約2km地点)で、22歳の時に被爆され今年93歳の榎村さんのお話を6年生が聞きました。当時幼年学校にお勤めで、ガリ版で数学の教科書を作られていたそうです。8月6日は、低空飛行で爆弾が落とされ、小包が落ちてくるように見えたそうです。家の中に逃げ込んだ榎村さんは、家の下敷きになり、ガラスが割れ顔にガラスの破片が刺さり、金平糖のような顔になってしまいました。防空頭巾と水筒だけを持ち、山に避難しようとした時、原子雲により辺りは薄暗く、原子雲の隙間から太陽の光が射していました。残っているのは鉄筋の建物だけ、死体のごろごろしていました。皮膚がただれた人たちの真っ黄色の体液が流れる音がいつまでも耳から離れなかったそうです。悲惨な現状を目の当たりにし、いろいろなことが考えられなくなる榎村さんでした。指が治らず、40℃の熱が続き、「指が化膿し腕を落とすことになる」、と言われたそうですが、指先だけですみ(それでも大変なことですが)、今は指先の感覚がないそうです。4回癌にいられましたが、ご健在です。普通の暮らしがどれほど幸せなことかとお話いただきました。6年生は、しっかりと話が聞け、「昨年、オバマ大統領が広島に来たことをどう感じたか」等たくさんの質問が出ていました。生々しいお話を聞き、戦争、原爆の恐ろしさを知った6年生でした。平和な世の中となるためには、自分たちは、どのように行動すればよいのかしっかり考えられる子どもたちであってほしいです。榎村さん、ありがとうございました。

